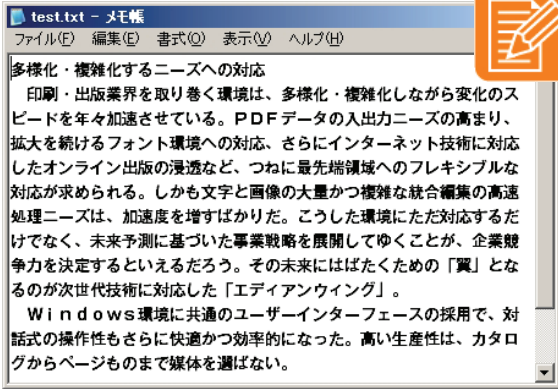


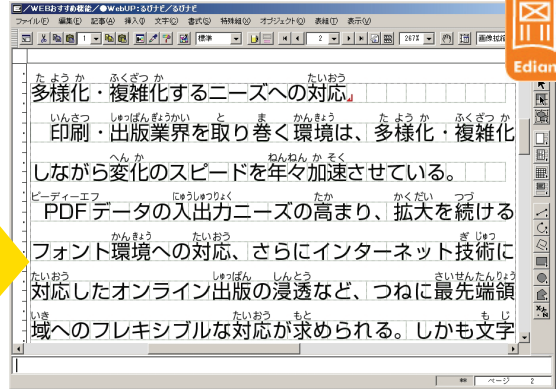


RubyNavigation (るびナビ) の使い方を知りたい!

●すべての漢字にルビを自動で振りたい (第1回)



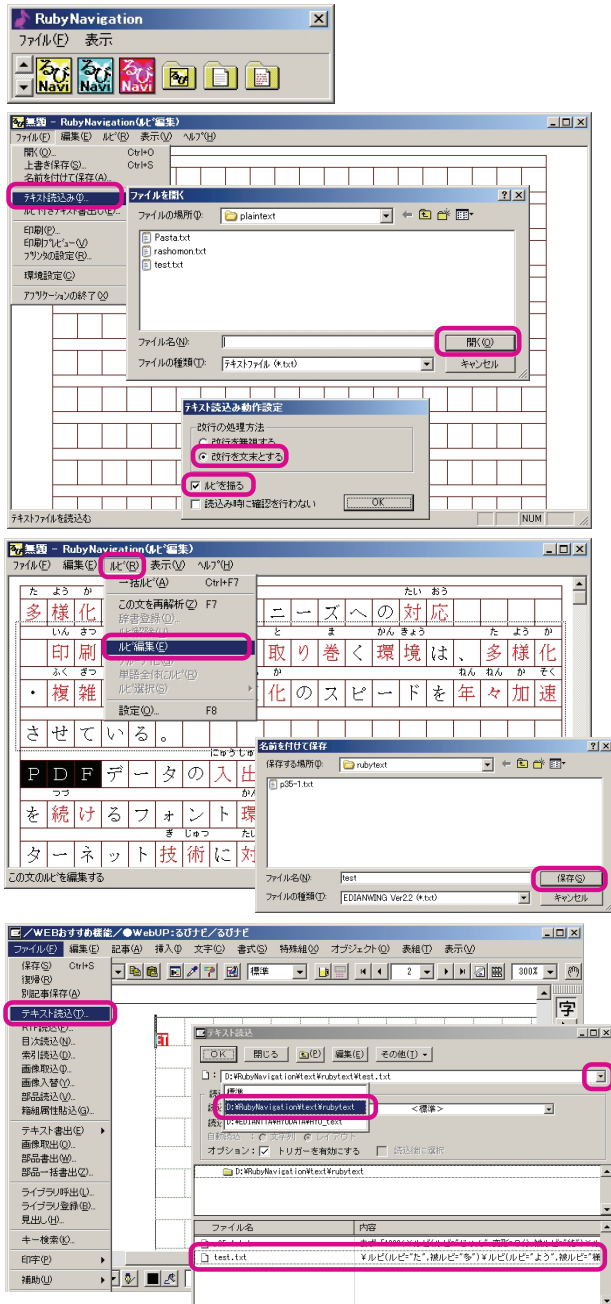
▲プレーンテキスト (メモ帳)



▲ルビ付きテキストを読み込 (EdianWing)

基本的な操作の流れを説明します。

RubyNavigation (るびナビ) は、自動でルビを付加し、ルビ付きテキストファイルを書出す EdianWing 標準の支援ソフトです。自動でルビを付加したテキストファイルを EdianWing に読み込めば、大量のルビ振りを短時間で処理できます。今回は基本的な流れを説明します。



①EdianWingのプログラムランチャー左のグループ切替ボタン▲または▼をクリックし、RubyNavigationランチャーに切替えます。読み込むテキストファイルをプレーンテキストフォルダ [] に置きます。

②左のアイコン [] をクリックして、るびナビを起動します。

③【ファイル】メニューから【テキスト読み込み】を選択します。プレーンテキストを選択し、[開く]をクリックします。

④「テキスト読み込み動作設定」パネルで「改行を文末とする」「ルビを振る」にチェックを入れ、[OK]をクリックします。
▶ルビが自動で振られて読み込まれます。

⑤修正したいルビがある場合は、修正する単語を選択し、【ルビ】メニューから【ルビ編集】を選択します。

⑥ルビ文字を修正・補足します。モノルビの場合、[Tab]で親文字のルビ領域が切り替わります。



⑦【ファイル】メニューから【ルビ付きテキスト書出し】を選択します。ファイル名を指定し [保存] をクリックし、るびナビを終了します。

⑧EdianWingの記事を開き、文字カーソルを読み込む位置に合わせ、【ファイル】メニューから【テキスト読み込み】を選択します。

⑨表示するディレクトリを▼ボタンで「¥rubytext」を選択し、保存したルビ付きテキストをクリックします。「読み込み」パネルで [OK] をクリックすると、ルビ付きテキストが読み込まれます。

総ルビ以外の設定方法や、その他の設定については、次回以降でご説明します。お楽しみに!